



顔認識や人工知能(AI)の技術を生かし、卒業アルバム用の写真を自動で選ぶシステムを昨年二月に開発した。一人一人の写り方が全体として公平になるように先生や保護者が何日もかけていた作業が、インターネットに接続したパソコン上で十〜三十秒で済む。「卒業アルバム作りのスタンダードになれば」と願う。

このシステムは学校や写真館と連携し、数万点規模の画像データ

この人

について事前に登録した顔を見分けて大きさを計測。運動会などの学校行事が一目で分かる構図や、表情の良い写真を優先して候補を絞り込む仕組みもある。

システムエンジニアとして「世の中の困り事をITで解決したい」と二〇〇六年に起業。一、二月にアルバム制作が集中する印刷会社で疲れ切った社員の姿が開発の出发点だった。「自分でやらないと気が済まない」技術者魂で初期設定をほぼ一人で手がけた。

教員の働き方改革を促す文部科学省の事例集に掲載され、利用校は全国で千校を超える勢いだ。「マスク姿は見分けが難しくて助かった」との先生の声を受け止め、「さらに改良を重ねて便利にしたい」。

(小沢伸介)